※事務局記入欄

No. A-50

※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1)(表 1)などと文中に記載し、右ページに(写真 1)(表 1)などと表記の上、貼り付けてください。 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。

※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

エントリー名:

カリキュラム・マネジメント実践部門

京都市立開睛小中学校 今河慶昭 平成30年度第2回次世代リーダー育成研修

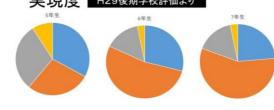
児童生徒の学習習慣の確立 ~スケジュール管理能力の育成~

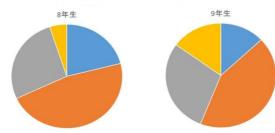
解決すべき課題:

本校は京都市東山区にある施設一体型小中一貫校 である。世界遺産である清水寺をはじめ多くの寺社仏閣 が校区にあることや、京都市でも有数の繁華街である祇 園を校区に含むことから年間を通して多くの観光客が訪れ る地域である。H29 年度の学校評価の児童生徒アンケ ートを見ると、7年生までは計画的に家庭学習を取り組 むことができているが、8から9年生となるにつれて徐々に ■よくできている ■ 大体できている ■ あまりできていない ■ できていない

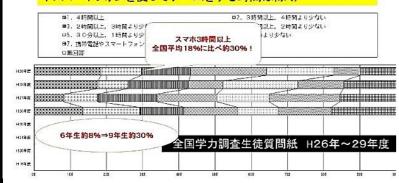
家庭学習が計画的にできていない現状が見て取れる。さらにH 29 年度の全国学力学習状況調査の生徒質問紙を見ると、放 課後の 9 年生のスマホ使用時間は、1日3時間以上が約30% (本校の6年生は約8%,9年生の全国平均約18%)である

児童生徒 計画をたてた家庭学習 実現度 H29後期学校評価より





9年 普段(月~金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, 携帯電話やス マートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)



ことがわかる。テレビやゲームの時間はそのまま に、加えて8、9年生となりスマホの時間が 増えていることがわかる。時間があれば「とりあ えずスマホでゲーム」という状況と予想できる。 この現状では家庭学習の時間が十分に取れ ず、学力を向上させることが困難であるといえ 全国学力調査生徒質問紙 H26年~29年度 る。そこで第2回次世代リーダー育成研修 「学校組織マネジメント」から学んだことを生か し取組をスタートさせた。

目標·方針:

子ども達の多くが携帯電話やスマートフォンを手にする7、8年生 までに「とりあえずスマホでゲーム」ではなく子ども達自身のスケジュール 管理能力を向上させるため、以下の⑤点に取り組む。

- ① 7~9年生には1人1冊,ファイル型の「スケジュール帳」を持た せ,時間割や持ち物,提出物,宿題,放課後の時間の使い 方などを生徒自身でカリキュラム・マネジメントさせる。
- ②担任は毎日班ごとに($5\sim6$ 名)スケジュール帳をチェックし、 宿題の提出状況や家庭学習の時間等について適切にアドバイス 行う。
- スケジュール管理能力 の向上による学習習慣の確立 r スケジュール PDCA 担任による 評価アンケー までの系統的
- ③ 7年生になるまでの1~6年生は1週間の時間割が書かれた「おたより帳」を段階的に工夫する。
- ④学期末ごとに児童生徒に「おたより帳」や「スケジュール帳」に関するアンケートを実施する。
- ⑤④を分析し、長期休み中に校内研修を行うことで PDCA サイクルを回す。

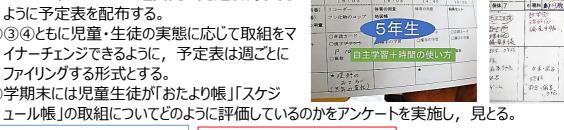
以上のことを研究主任や教務主任、1~9年生の各学年主任と連携し取組を進める。

活動内容:

- ①児童生徒は朝学活で「おたより帳」「スケジュール帳」を机 の上に出して、昨日の家庭学習をふりかえる。また提出物 や今日の時間割、一週間の見通しを確認する。(教務主 任と連携し、朝学活を10分間とれるように校時表を変
- 更)終学活でも机の上にだし、今日の宿題や明日の持ち 物,提出物,帰ってからの予定を書き込む。
- ②担任の先生は毎日,班ごとに(5~6名ずつ)回収し,児童生徒のスケジュール管理能力を見とる。 必要に応じてスケジュール帳の効果的な活用方法や時間の使い方などのアドバイスを行う。
- ③ 1 ~ 6 年生の各学年教員は一週間の時間割が書かれた「おたより帳」を工夫する。 1・2 年生は毎日の 宿題を自分で見て確認できるものに、3・4年生からは毎日の宿題を「自分で」おたより帳に書き込めるよう に、5・6年生は放課後の予定やテストの時間割を見て「自主学習」の欄に自分で考えて学習計画が立 てられるようにする。

(研究主任や各学年主任と連携)

- ④7~9年生は2・3週間先の見通しが持てる ように予定表を配布する。
- ⑤③④ともに児童・生徒の実態に応じて取組をマ イナーチェンジできるように、予定表は週ごとに ファイリングする形式とする。
- ⑥学期末には児童生徒が「おたより帳」「スケジ



世界の中の国土 委員会活動

9年生 据等特(0) ** 19 8 . R. S "所名"。 "偏益的情"。 "和学、编集

⑦④を分析した結果を夏休みや冬休みの 期間を利用し、校内研修を行う。各学

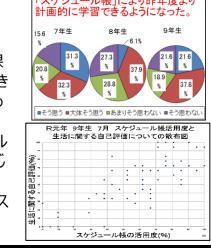
> 年の取組の工夫やアイディアをもちよ り、PDCA サイクルを回す。

おたよりや学習についてのアンケート (5・6年) ★以下の質問について、あなたの考えをお聞かせください。 の句(らん)にやることを書きこ ① たまに着いている 「手段・方法」に関する質問 指導して、作法を身に付けさせる。

A→た 「目的・ねらい」に関する質問 作法を身に付ければ、学力が上がる。

活動の成果:

- ① 1~9年生まで校時表がそろったことで「おたより帳」「スケジュール帳」に 取り組む時間が児童生徒、教員ともに明確になった。
- ②児童生徒のアンケート結果(R元年度7月実施)を見ると、とりわけ課 題であった9年生は「『スケジュール帳』により昨年度より計画的に学習でき るようになった「「昨年度より家庭学習の時間が増えた」また「忘れ物が減っ た」と感じている。
- ③ 9 年生のアンケート結果(R元年度 7 月実施)を見ると,「スケジュール 帳」の活用度が高い生徒ほど、生活習慣や学習習慣が改善されたと感じ ている。
- ※次回は各テストの結果と「おたより帳」「スケジュール帳」の活用度のクロス 集計を図りたい



アピールポイント(アイディアや工夫):

- ・学校を取り巻く地域や学校評価アンケート、全国学力学習状況調査の質問紙から本校の児童生徒の家 庭学習、学習習慣の実態をとらえて取組をスタートさせたこと。
- ・ミドルリーダーとして研究主任や教務主任、1~9年生までの各学年主任と連携を取りながら学校全体, 教職員一丸となって取組を進め、一定の成果を得られたこと。
- ・校内研修を通して1年度中に2度の PDCA がはかれるため,ますます改善できる取組であること。

【様式 2 】